

森林保護から地域貢献へ

ジビエ商品開発・販売促進部

山本華花、笹岡みと、田岡芽途、
永井威次、尾崎英汰、吉田琳華、山下純令

2024年度テーマ： ジビエ部の存在を最大限に活かした地域貢献活動

1.ジビエ部の創造する循環型森林保護プロジェクト

1 現状把握

高知県の森林率は84%で全国1位。
一方、野生鳥獣による森林の
被害総額は年間1億円を超える。
高知県の豊かな森林資源を未来に
残すために何ができるか。

2 活用

野生鳥獣をジビエとして利活用し
「いただく」で森林保護を実現。
森林の保護と共に、販売を通して
ジビエとしての価値を発信。
地域貢献としての意義も創造。

3 還元

販売活動を経て得た利益を、
「三嶺のみんなの森をまもる会」に
寄付。また、森林保護活動にも
参加し、森林の現状を把握。
持続可能な社会を目指す。

2.ジビエ部の地域貢献活動

【ペットフード事業】

モモ肉、肺、ハツ、レバーといった鹿肉の部位を
ジャーキーに加工したもの、アキレス腱を使ったガム、
ふりかけ、足骨など、幅広い商品をペットフード事業へと
展開し、2023年度より発売開始。

人間が食べられない部位をペットフードとして活用する
ことで、**廃棄部位を削減**し、持続可能な資源活用に貢献。

すべての商品が完全無添加であることから、ペットの健康
を考えるお客様からも高い支持を受け、販売開始以降の
売上合計金額は**1,763,900円**（※2024年10月中旬時点）を
達成。

鹿肉の豊富な栄養を活かし、ペットの健康に寄り添った
商品として高く評価される。



【こども食堂】

地域貢献とジビエの普及を目指し、地元商店街などで
こども食堂を開催。鹿肉を使用したカレーを中学生以下は
無料、大人は500円で提供し、**地元商店街の活性化と
幅広い世代へのジビエの認知向上**に取り組んだ。

活動を通じて、小さな子どもたちもジビエを味わうこと
で、高知県の森林を守ることに貢献できていることを実感
し、野生動物の存在や自然環境について考えるきっかけと
なる「**食育**」の場にもなった。

さらにこうした取り組みから繋がり、地元小学校バザーで
も鹿肉カレーの販売を実施。他県の高校生の活動である
廃棄予定のリンゴも活用し、食品の有効活用や高校生同士
の交流も実現した。

地域や他校の協力により、
多くの人に支えられながら、
幅広い世代にジビエの魅力と
環境保護への意識を伝える場が
広がっている。



【高知市中央卸売市場】

2024年度から高知市中央卸売市場での販売を開始。
主な目的は一般のお客様が少ない市場を活性化し、
高校生の力で新たな賑わいを創出すること。
6年間積み重ねたジビエ部としての経験・学びを活かし、
地域への貢献に向けた新たな挑戦である。

しかし、解決に至らない課題も
多く残っている。今までの活動で
築いた**企業や他校の方々との関係**を
強みに、新たな地域の魅力を創造して
いきたいと考える。



3.ジビエ部のその他の活動

【高校生ジビエ・レストラン】

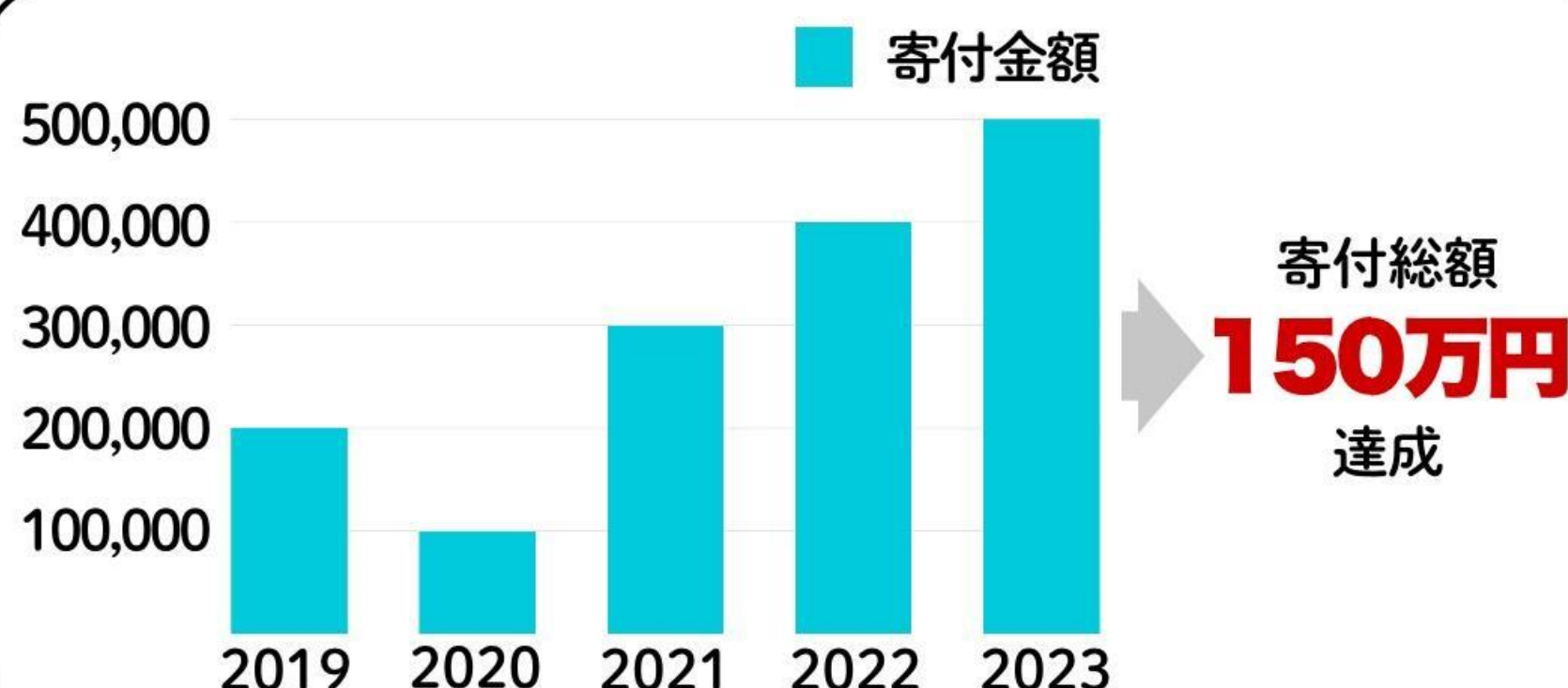
高知市役所内のレストラン「せんだんの木」で期間限定の
「**高校生ジビエ・レストラン**」をオープン。

ジビエ料理の調理と販売を行い、ジビエの魅力や野生鳥獣
被害の現状を紹介するパネル展示も実施。

1食につき100円を森林保護活動に役立てている。



4.森林保護活動団体への年次推移ごとの寄付金額



今年度の目標金額は**50万円以上**

10月中旬時点で50万円以上の寄付達成可能に